報告入力項目（新様式）

【Ⅰ．基本情報】

発生年	□ 年

発生月

○１月　○２月　○３月　○４月　○５月　○６月
○７月　○８月　○９月　○１０月　○１１月　○１２月

発生曜日

○日曜日　○月曜日　○火曜日　○水曜日　○木曜日　○金曜日　○土曜日

発生時間帯

○０：００～１：５９　○２：００～３：５９　○４：００～５：５９
○６：００～７：５９　○８：００～９：５９　○１０：００～１１：５９
○１２：００～１３：５９　○１４：００～１５：５９　○１６：００～１７：５９
○１８：００～１９：５９　○２０：００～２１：５９　○２２：００～２３：５９
○不明

事例の区分

○調剤に関するヒヤリ・ハット事例
→　選択した場合は【Ⅰ－１調剤に関するヒヤリ・ハット事例における選択項目】へ

○疑義照会や処方医への情報提供に関する事例
→　選択した場合は【Ⅰ－２疑義照会や処方医への情報提供に関する事例における選択項目】へ

○特定保険医療材料等に関する事例
→　選択した場合は【Ⅰ－３特定保険医療材料等に関する事例における選択項目】へ

○一般用医薬品等の販売に関する事例
→　選択した場合は【Ⅰ－４一般用医薬品等の販売に関する事例における選択項目】へ

【Ｉ－１．調剤に関するヒヤリ・ハット事例における選択項目】

患者情報

患者の数

○１人

患者の年齢 [　　] 歳

患者の性別 ○男性　○女性

来局状況① ○初めて　○久しぶりに利用　○平素から利用

来局状況② ○当薬局のみ利用　○複数の薬局を利用（当薬局が主）
○複数の薬局を利用（他薬局が主）

○複数人

当事者人数

○１人　○２人　○３人　○４人　○５人以上

当事者情報１～５

当事者職種

薬剤師

○調製者　○鑑査者　○交付者　○それ以外

○事務員

○その他の職種 [　　]

当事者職種経験年数 [　　] 年

発見者

○当事者

当事者以外

○当該薬局の薬剤師　○当該薬局の事務員　○他施設の医療従事者　○患者本人

○家族・付き添い　○他患者　○その他[　　]

発見場面

○交付前に発見した

交付後に発見した

患者への影響

○軽微な治療　○影響なし　○不明

事例の内容		
薬剤の調製前		
○レセコンの入力間違い		
調製および鑑査		
○薬剤取り違え（異なる成分）	○薬剤取り違え（同成分）	○規格・剤形間違い
○計数間違い	○秤量または分割の間違い	○一包化調剤における間違い
○分包紙の情報間違い	○異物の混入	○期限切れ
○調製忘れ	○その他	
交付		
○患者間違い	○説明間違い	○説明不足
○薬袋の記載間違い	○お薬手帳・薬情の記載不備・間違い	○交付忘れ
○その他		
交付後（在宅業務等）		
○カレンダー等のセット間違い	○服薬後の患者状況の確認不足・漏れ	○その他

関連事項		
○一般名処方	○先発医薬品から後発医薬品への変更	○該当しない

（医薬品に関する項目）

① 上記「事例の内容」において「レセコンの入力間違い」、「薬剤取り違え（異なる成分）」、「薬剤取り違え（同成分）」または「規格・剤形間違い」を選択した場合

該当する医薬品数	

処方された医薬品		間違えた医薬品	
厚労省コード		厚労省コード	
販売名		販売名	
製造販売業者名		製造販売業者名	

② 上記「事例の内容」において「レセコンの入力間違い」、「薬剤取り違え（異なる成分）」、「薬剤取り違え（同成分）」または「規格・剤形間違い」以外を選択した場合

該当する医薬品数	

関連医薬品	
厚労省コード	
販売名	
製造販売業者名	

【Ｉ－２．疑義照会や処方医への情報提供に関する事例における選択項目】

患者情報

患者の数

○１人

患者の年齢 [　　] 歳

患者の性別 ○男性　○女性

来局状況① ○初めて　○久しぶりに利用　○平素から利用

来局状況② ○当薬局のみ利用　○複数の薬局を利用（当薬局が主）
○複数の薬局を利用（他薬局が主）

○複数人

発見者

薬剤師

○調製者　○鑑査者　○交付者　○それ以外

○事務員

○その他の職種 [　　]

発見者職種経験年数 [　　] 年

疑義照会や処方医への情報提供

○行った　○行ったが、当薬局の問い合わせた内容に誤りがあった

○行うべきところ行わなかった

A)　「疑義照会や処方医への情報提供」において「行った」、「行ったが、当薬局の問い合わせた内容に誤りがあった」を選択した場合

発見場面

○処方監査　○調製～交付　○交付後（経過観察中や在宅患者への訪問時も含む）

事例の内容

○投与量	○投与日数	○薬剤名
○用法	○同成分の重複	○同効薬の重複
○相互作用	○配合変化	○アレルギー・患者の体質
○病態禁忌	○副作用歴	○副作用の発現
○患者の体調変化	○患者の服薬状況（服薬能力）	○患者の生活状況
○処方漏れ	○残薬の調整	○ポリファーマシー
○漫然とした長期投与	○記載事項の不備	○その他 [　　]

結果

○薬剤減量（１回量または１日量）	○薬剤増量（１回量または１日量）
○薬剤変更（他成分への変更）	○薬剤追加
○薬剤削除	○用法変更
○日数変更（全量も含む）	○剤形変更
○調剤方法の変更（粉砕・一包化等）	○服薬中止
○変更なし	○その他 [　　]

仮に変更前の処方通りに服用した場合の患者への影響
○患者に健康被害が生じたと推測される　○適正な治療効果を得られなかったと推測される ○患者に影響はなかったと推測される

判断した理由
○当該処方箋のみで判断 ○処方箋とその他の情報で判断 □薬局で管理している情報(薬剤服用歴)　□お薬手帳　□患者の現疾患、副作用歴等 □処方箋に記載された検査値　□患者が持参した検査値　□医療機関から収集した情報 □患者・家族から聴取した情報　□情報提供書　□他職種からの情報 [　　] □その他 [　　]

疑義照会や処方医への情報提供の手段
○電話　○ＦＡＸ　○服薬情報提供書　○ＩＣＴ　○その他 [　　]

（医薬品に関する項目）

①　上記「結果」において、「薬剤変更（他成分への変更)」または「剤形変更」を選択した場合

該当する医薬品数	[　　]

処方された医薬品		変更になった医薬品	
厚労省コード		厚労省コード	
販売名		販売名	
製造販売業者名		製造販売業者名	

②　上記「結果」において、「薬剤変更（他成分への変更)」または「剤形変更」以外を選択した場合

該当する医薬品数	[　　]

関連医薬品	
厚労省コード	
販売名	
製造販売業者名	

B)　「疑義照会や処方医への情報提供」において「行うべきところ行わなかった」を選択した場合

疑義照会や処方医への情報提供をすべきであった内容		
○投与量	○投与日数	○薬剤名
○用法	○同成分の重複	○同効薬の重複
○相互作用	○配合変化	○アレルギー・患者の体質
○病態禁忌	○副作用歴	○副作用の発現
○患者の体調変化	○患者の服薬状況（服薬能力）	○患者の生活状況
○処方漏れ	○残薬の調整	○ポリファーマシー
○漫然とした長期投与	○記載事項の不備	○その他

処方通りに服用した患者への影響		
○患者に健康被害があった	○適正な治療効果を得られなかった	○患者に影響はなかった

判明したきっかけ			
○患者からの連絡	○医療機関からの情報提供	○薬局での発見	○その他

（医薬品に関する項目）

該当する医薬品数	

関連医薬品	
厚労省コード	
販売名	
製造販売業者名	

【Ｉ－３．特定保険医療材料等に関する事例における選択項目】

患者情報

患者の数

○１人

患者の年齢 [　　] 歳

患者の性別 ○男性　○女性

来局状況① ○初めて　○久しぶりに利用　○平素から利用

来局状況② ○当薬局のみ利用　○複数の薬局を利用（当薬局が主）
○複数の薬局を利用（他薬局が主）

○複数人

事例の分類

○調剤に関するヒヤリ・ハット事例　○疑義照会や処方医への情報提供に関する事例

A)　「事例の分類」で「調剤に関するヒヤリ・ハット事例」を選択した場合

当事者人数

○１人　○２人　○３人　○４人　○５人以上

当事者情報１～５

当事者職種

薬剤師

○調製者　○鑑査者　○交付者　○それ以外

○事務員

○その他の職種 [　　]

当事者職種経験年数 [　　] 年

発見者

○当事者

当事者以外

○当該薬局の薬剤師　○当該薬局の事務員　○他施設の医療従事者　○患者本人

○家族・付き添い　○他患者　○その他 [　　]

発見場面

○交付前に発見した

交付後に発見した

患者への影響

○あり　○なし

事例の内容			
○材料の取り違え	○規格間違い	○数量間違い	○期限切れ
○調剤忘れ	○患者間違い	○説明間違い・不足	○交付忘れ
○その他			

（特定保険医療材料に関する項目）

① 上記「事例の内容」において、「材料の取り違え」または「規格間違い」を選択した場合

該当する特定保険医療材料数	

処方された特定保険医療材料		間違えた特定保険医療材料	
販売名		販売名	
製造販売業者名		製造販売業者名	

② 上記「事例の内容」において、「材料の取り違え」または「規格間違い」以外を選択した場合

該当する特定保険医療材料数	

関連する特定保険医療材料	
販売名	
製造販売業者名	

B) 「事例の分類」で「疑義照会や処方医への情報提供に関する事例」を選択した場合

発見者

薬剤師

○調製者 ○鑑査者 ○交付者 ○それ以外

○事務員

○その他の職種

発見者職種経験年数 年

発見場面

○交付前に発見した

交付後に発見した

患者への影響

○あり ○なし

問合わせ結果

○変更 ○追加 ○削除 ○その他

（特定保険医療材料に関する項目）

① 上記「問合わせ結果」において、「変更」を選択した場合

該当する特定保険医療材料数	

処方された特定保険医療材料		変更になった特定保険医療材料	
販売名		販売名	
製造販売業者名		製造販売業者名	

② 上記「問合わせ結果」において、「変更」以外を選択した場合

該当する特定保険医療材料数	

関連する特定保険医療材料	
販売名	
製造販売業者名	

【Ｉ－４．一般用医薬品等の販売に関する事例における選択項目】

使用者情報

使用者の年齢 [　　] 歳
使用者の性別 ○男性　○女性
来局者 ○使用者　○代理人

当事者人数

○１人　○２人　○３人　○４人　○５人以上

当事者情報１～５

当事者職種
○薬剤師　○登録販売者　○事務員・販売者　○その他の職種[　　]

当事者職種経験年数 [　　] 年

発見者

○当事者

当事者以外
○当該薬局の薬剤師　○当該薬局の登録販売者　○当該薬局の事務員・販売者
○使用者　○家族・付き添い　○その他[　　]

事例の内容

不適切な販売の回避
○医療用医薬品との重複　○医療用医薬品との相互作用　○現病歴・既往歴
○アレルギー・患者の体質　○受診勧奨　○その他[　　]

不適切な販売
○不適切な医薬品の選択　○医薬品の取り違え　○説明間違い・不足
○期限切れ　○その他[　　]

「事例の内容」で「不適切な販売の回避」を選択した場合

判断した理由

○使用者・代理人から聴取した情報　○薬局で管理している情報（薬剤服用歴等）
○お薬手帳　○その他[　　]

（医薬品に関する項目）

該当する医薬品数	[　　]

関連する一般用医薬品等

販売名	
製造販売業者名	

分類
○要指導医薬品　　○第一類医薬品
○指定第二類医薬品　　○第二類医薬品
○第三類医薬品　　○薬局製造販売医薬品
○医療用医薬品と相互作用のある食品
○その他［　　］

【Ⅱ．発生要因に関する情報】

事例の区分が「調剤に関するヒヤリ・ハット事例」、「特定保険医療材料等に関する事例」、「一般用医薬品等の販売に関する事例」の場合

発生要因（複数回答可）

【当事者の行動に関する要因】

□判断誤り
□手順不遵守
□スタッフ間のコミュニケーション不足・齟齬
□患者とのコミュニケーション不足・齟齬
□その他 [　　]

【当事者の背景的な要因】

□知識不足　□技術・手技が未熟
□慣れ・慢心　□焦り・慌て
□疲労・体調不良・身体的不調　□心配ごと等心理的状態
□その他 [　　]

【薬剤・機器・設備に関する要因】

□医薬品の名称類似　□医薬品や包装の外観類似
□医薬品包装表示・添付文書の要因　□処方箋やその記載のされ方の要因
□コンピューターシステムの使いにくさ・不具合　□調剤設備・調剤機器の使いにくさ・不具合
□薬剤服用歴などの記録の不備　□調剤室の環境的な要因
□調剤室以外の環境的な要因　□その他 [　　]

【発生時状況等に関する要因】

□繁忙であった　□標榜する営業時間外であった
□普段とは異なる業務状況だった　□その他 [　　]

【薬局内の管理的な問題】

□教育訓練のなされ方　□設備機器等の管理　□薬局内のルールや管理の体制・仕方
□薬局内の風土・雰囲気　□その他 [　　]

【患者や家族の要因】

□患者や家族の不注意　□患者や家族の理解力・誤解
□患者や家族のコンプライアンス・協力態度　□その他 [　　]

事例の区分が「疑義照会や処方医への情報提供」の場合

発生要因（複数回答可）

【推定される医療機関側の要因】

□患者とのコミュニケーション不足・齟齬　□カルテ記載の不備
□コンピューターシステムの使いにくさ・不具合　□連携不足
□知識不足　□判断誤り
□処方内容の確認不足　□その他 [　　]

【その他】

□医薬品の名称類似　□患者や家族の要因　□その他 [　　]

【Ⅲ．テキスト情報】

事例の区分が「調剤に関するヒヤリ・ハット事例」、「特定保険医療材料等に関する事例」、「一般用医薬品等の販売に関する事例」の場合

事例の詳細

背景・要因

薬局における改善策

事例の区分が「疑義照会や処方医への情報提供に関する事例」の場合

事例の詳細

推定される要因

薬局での取り組み